
同棲

神村律子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

同棲

【Nコード】

N7720H

【作者名】

神村律子

【あらすじ】

同棲に憧れていた私。遂にその念願が叶った。

ああ。

信じられない。

ずっと夢だった。

叶えたいと思っていた。

でも到底叶わないとも思った。

それが信じられない事に叶ってしまった。

子供の頃から憧れていた同棲。

その何となく後ろめたくて、それでいて眩しいような言葉。

ずっとずっと好きだった高校時代の同級生。

その彼に偶然街で出会った。

彼も私の事を覚えていてくれて、嬉しさのあまり、

「一緒にお食事でも」

と思いついて誘ってみた。

彼は快諾してくれた。

私は有頂天になった。

デートでも何でも無い。

只単に昔の同級生に久しぶりに会ったから、というだけ。

彼の心の中は、その程度だと思う。

いや、そうだ。

きっとそうだ。

それでも良かった。

幸せだった。信じられなかった。

夢なら覚めないで、と思った。

でも夢じゃなかった。

「楽しかったよ」

別れ際にそう言われた。

失神するかと思った。

それくらい私の心は高揚した。

そして今、更に信じられない事に私はその彼と同棲している。

私の狭いアパートに2人。

もう何もかもが輝いて見えるくらい嬉しい日々。

でも1つ困った事がある。

彼自身。

同棲を始めて1ヶ月。

そろそろ何とかしないと。

強力な防臭剤、どこかで見つけて来ないとね。

じゃ、仕事行って来るね、ダーリン。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7720h/>

同棲

2011年10月5日06時46分発行